

多様な主体で暮らしを支える ～想いをつなぐ「泉サポートプロジェクト」～

令和4年12月8日(木)
第7回よこはま地域福祉フォーラム

養護老人ホーム白寿荘 伊藤 祐樹
特別養護老人ホーム白寿荘 工藤 達也
横浜市いずみ野地域ケアプラザ
第2層生活支援コーディネーター 草島 佳子
横浜市泉区社会福祉協議会
第1層生活支援コーディネーター 中川 直樹

本日、お伝えしたいこと

- ◆地域ニーズに応える施設の想い
- ◆地域貢献は、施設や企業の実状に応じて無理なく行えるということ
- ◆ニーズと多様な主体とをつなぐコーディネーター役(地域ケアプラザく以下、CP)など)との連携の重要性

横浜市泉区について

18区の行政区

人口:152,436人
高齢化率:28.7%



区の概要

- ・樹林地、農地など緑が多く残っている。
- ・4つの河川や湧き水など豊富な水源に恵まれている。
- ・9つの駅とバス路線があるが、エリアによっては交通の利便性に差がある。
- ・大規模公営住宅の他、特別養護老人ホーム、障害者福祉施設等の社会福祉施設が多く立地している。
(生活支援コーディネーター応援サイト 第6回「SCカフェ」泉区役所高齢・障害支援課資料より引用)

泉サポートプロジェクト(以下、サポプロ)の目的

あらゆる機関が住民と共に地域貢献活動を検討・実施していくことで、「誰もが安心して暮らし、助け合えるまちづくり」を目指すものとする。

サポプロ発足の経緯

平成28年社会福祉法の
改正に伴う社会福祉法人等
施設の公益的取組の推進



平成28年度生活支援体制
整備事業の取組開始

- ★サポプロは、福祉施設を中心に構成された泉区社会福祉協議会（以下、区社協）専門機関部会が主体となり立ち上がる
- ★サポプロは、生活支援体制整備事業と並走して発展
- ★生活支援コーディネーターが地域と施設等をつなぐ

地域のニーズと施設とをつなげる ～サポプロの第一歩～

地域から聞こえる声

足腰が弱ってきてサロンや
敬老会に歩いていけなくな
った...

仲間と会いたい...

施設の想い

地域の声に応えたい！
地域貢献活動を通じて
まちづくりを進めたい！



施設の車両が活用できる！

地域と施設が連携した移動支援のはじまり

移動支援以外の地域ニーズを探ってみると

→買い物に困っている・・・

→自治会館以外に集まれる場所がない・・・ 等

暮らす環境によって異なるニーズ



CPエリア毎に地域に密着したニーズに応える！

明らかになる様々な地域のニーズに応えたい・・・
施設のと共に企業だからできることがある



多様な主体の連携

多様な主体の連携による新たな取組

→移動販売、人材の派遣、敷地の開放・・・

CPエリアで展開される取組①

買い物支援・交流の場

- ◆施設が駐車場を開放し、入居者や地域住民に向けた企業や施設による出張販売



CPエリアで展開される取組②

ちょこっとボランティア

- ◆移動販売で買い物した重い荷物を障がい者支援事業所の通所者が自宅まで運ぶお手伝い



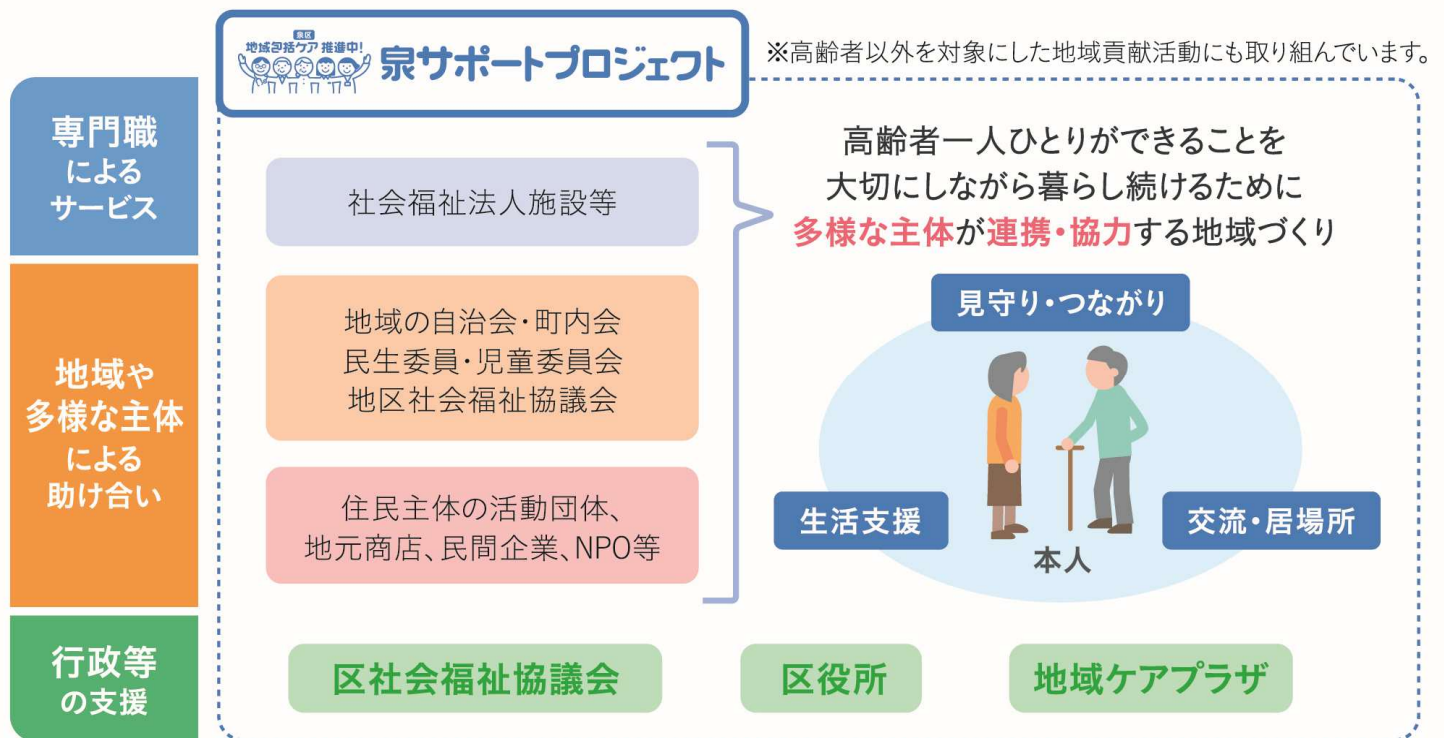
その他にも

「トイレやAEDの設備、飲料水の提供」なども立派な地域貢献！

多様な主体の実状に応じて、無理なくできることをみんな
でつなぎ合わせて地域ニーズに応える

それが、サポプロの目指す姿

コロナ禍でも工夫しながら広がるサポプロの取組



「泉区アクションプラン」より引用

いずみ野地域ケアプラザエリア地区概況

◇瀬谷区が隣接した地域

和泉北部地区、和泉中央地区(いずみ中央CP)

中川地区(岡津CP・新橋CP)

◆昭和51年、相鉄いずみ野線開通

駅前付近はマンション群と戸建の区画

◇農地が多い(泉区は横浜市で第1位)

地産地消取組: 小学校(田んぼ・畑、給食)

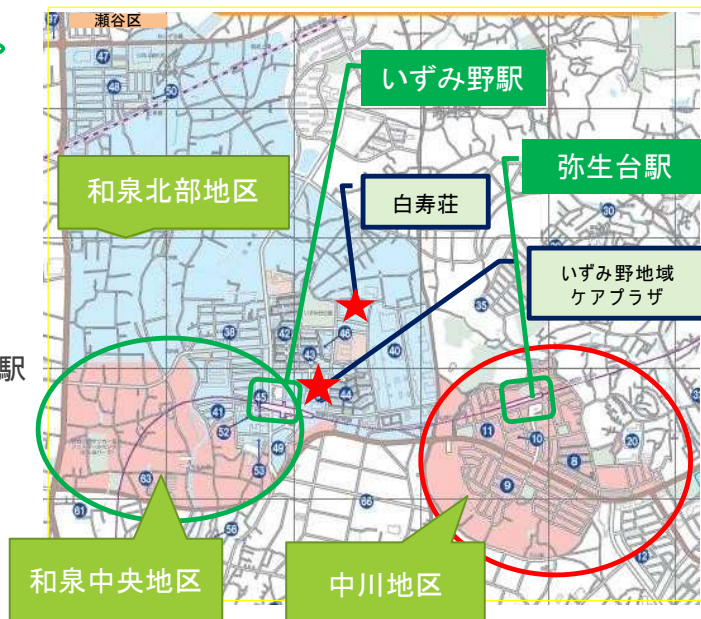
◆交通機関: 相鉄いずみ野線 いずみ野駅・弥生台駅

◇人口13,279人(令和4年3月現在)

◆高齢化率36.06%(")

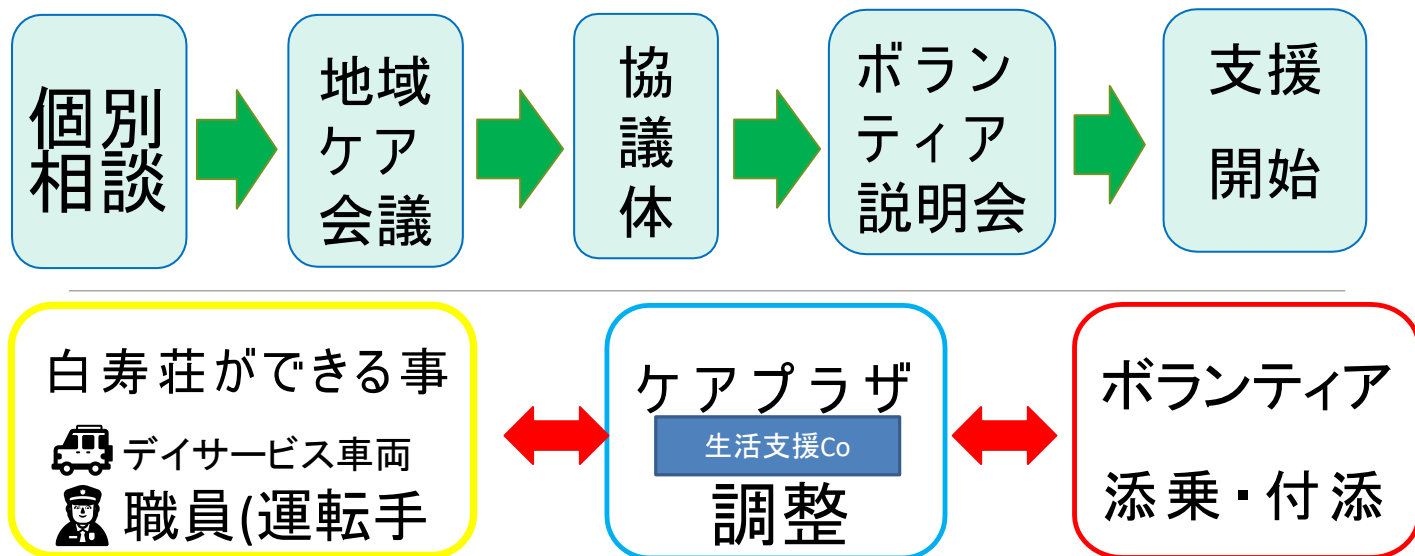
泉区第1位(横浜市平均28.70%)

◇課題: エレベーターの無いマンション住民の高齢化
公共交通機関利便性の悪い地域 移動支援・買物支援



白寿荘といずみ野地域ケアプラザの取組①


◆高齢者の外出支援 



白寿荘といずみ野地域ケアプラザの取組②

◆講師派遣

お出かけサポーター研修会

※コロナ禍での展開  車の送迎から車椅子での外出支援へ



白寿荘といずみ野地域ケアプラザの取組③

◆男飯(料理教室)

コロナ禍で東京ガス店の閉店

協力内容：栄養士さんの作るメニュー・講師
当日のボランティア



調理中



カレー&サラダ&ラッシー



離れて食事

白寿荘といずみ野地域ケアプラザの取組④

◆健康わくわくフェスタ（ケアプラ祭り）



スタンプラリーの様子



ドリンクコーナー



みかん狩り



紙飛行機飛ばし



金魚すくい

その他の取組

地域へのイベントへの外出支援

12月11日（日）送迎車で、お祭りに行こう！！

「上飯田地区センター祭り」送迎バス「もみじGO」(号)を運行します！！

【上飯田地区センターまつり】(会場：上飯田地区センター)で、福祉施設の車両を使い、『もみじGO(号)』として送迎バスを運行します。詳細は下記の通りです。

【詳細】

- <予約> いずみ野地域ケアプラザへ電話連絡又は、来所にてお申込みください。<料金> 無料
- <対象> 高齢者の方、障がい者の方、親子(未成年の方)は、乗車券別添、運行ダイヤ<下2頁参照。遠回りの方にご乗車の場合は、下乗地駅まで送迎先まで送迎ください。
- <付添者の方> 必須、・乗車料なし、・自名車で、・先着4名まで。

白寿荘玄関前 発		いずみ野駅南口 発	
11:00~	所要時間 7分	11:20~	所要時間 7分
13:00~	乗車人数 4名	13:20~	乗車人数 4名
14:00~		14:20~	

【注意事項】

- 送迎車は、送迎先までの距離が短い場合があります。
- 【予約先】 社会福祉法人白寿荘、福祉施設、いずみ野地域ケアプラザ、白寿荘、住居、車椅子の申込、お問合せ先：045-800-0322
- 【申込先】 上飯田地区センター、045-805-5188

白寿荘の入居者の外出支援

- ・公園へのお散歩
- ・スーパーへの買物

白寿荘の紹介

養護老人ホームと特別養護老人ホームとの複合施設

◆立地条件

相鉄線いずみ野駅より徒歩8分

隣接する公園は緑に溢れ地域の方の憩いの場

屋上からは富士山が一望出来る恵まれた環境

◆設立

・養護老人ホーム：昭和38年7月
(平成5年12月にいずみ野に移転)

・特別養護老人ホーム：平成5年12月

◆入所人数

・養護老人ホーム70名 ・特別養護老人ホーム：72名

白寿荘が地域貢献を大切にする想い

- ◆地域の一員として共に日々を過ごし、困ったときは助け合う
- ◆同じ目線に立ち「共に」を大切にする
- ◆地域に根差した福祉施設としてできることがある
- ◆地域に頼られる存在でありたい
- ◆地域からの声を大切にする

介護保険制度がスタートした頃の白寿荘

- ◆福祉施設としての白寿荘は・・・
施設の負担感が優先し、利用者へ断る理由を探す場面も。
- ◆このような状況下、地域貢献したいと意識しつつも白寿荘という組織で一致団結した取組に至っていたか・・・

このままではいかん！

白寿荘は地域に知ってもらえているのか？
ある地域の食事会に参加した時の会話
→「白寿荘って何をしているのかわからないね」
このままではいかん！



どうやって白寿荘を知ってもらえるのか？
どうすればいいのか？

- ◆まずは地域の人と触れ合える機会はどこにあるのか
- ◆少しでも地域の人と声を交わすことから始めよう！
- ◆「コーヒーを楽しむ会」開催



「白寿荘」という名前を地域に知ってもらう

地域貢献活動のスタート

変わる！

地域貢献の取組を行う担当職員を2名配置

→相互補完的に回り続けることにより、地域と施設を繋げる顔となる

断らない！「出来ない」のではなく、どうやったら出来るのか？を考える

→「なぜ、今、こういうことをやろうとしているのか？」

💡 数か月の時間を経て、組織内のベクトルが揃い、一丸となって地域貢献活動を推進する。

白寿荘の地域貢献のいろいろ



白寿荘からのメッセージ

- 地域貢献活動の文化の醸成に積極的に取り組む！
- 地域に出て行くと色々なニーズを発見できる！
- 自らが動きたいと思うことをみんなで考えながら地域貢献につなげていきたい！

「出来ない理由」を考えるのではなくて
ほんの小さなことで良い！
出来ることから挑戦する！

